

1 環境保全交流推進事業

(1) 北東アジア地域自治体連合環境分科委員会

「北東アジア地域自治体連合」(NEAR)は、北東アジア地域における多地域間の交流、協力を積極的、円滑に推進するために、日本海を取り巻く日本、中国、韓国、ロシアの自治体による北東アジア地域自治体会議において提唱され、1996年9月に韓国慶尚北道で開催された会議で設立された。

また、1998年10月に個々のプロジェクトあるいは課題について、その円滑な推進を支援するため、5分野の分科委員会(経済・通商、文化交流、環境、防災、一般交流)の設置が決定された。

1999年7月に、第一回の「NEAR環境分科委員会」が開催され、本分科委員会の連絡、調整、運営を行うコーディネート自治体として富山県が選出された。

ア 目的

環境に関する個別プロジェクトの円滑な実施を図るため、自治体間の意見調整、事業計画の具体化及び実現方策等について、検討、協議等を行う。

イ 会員自治体

環境分野に関心を有し、環境分科委員会に参加を希望した自治体で構成する。現在、21自治体に参加。

日 本 (9) : 青森県、新潟県、富山県、石川県、福井県、京都府、兵庫県、鳥取県、島根県

モンゴル (2) : 中央県、セレンゲ県

韓 国 (2) : 江原道、忠清南道

ロシヤ (8) : ブリヤート共和国、サハ共和国、沿海地方、ハバロフスク地方、アムール州、イルクーツク州、サハリン州、チタ州

ウ 事業概要

- (ア) 開催日 2005年7月14日
- (イ) 場 所 富山市(オークスカナルパークホテル富山)
- (ウ) 主 催 富山県、北東アジア地域自治体連合
- (エ) 参加自治体 (5か国 14自治体)
 - 日 本(4) 新潟県、富山県、石川県、兵庫県

モンゴル(1) セレンゲ県

韓 国(2) 江原道、忠清南道

ロシア(3) 沿海地方、ハバロフスク地方、サハリン州

・オブザーバー参加

中 国(3) 遼寧省、黒龍江省、山東省

韓 国(1) 慶尚北道

(ウ) 内 容

a 次期コーディネート自治体の選出

コーディネート自治体として、引き続き富山県が選出された。(任期:2007年7月13日まで)

b 各自治体における環境の現状と課題について

海外の6自治体(セレンゲ県、ハバロフスク地方、サハリン州、黒龍江省、山東省、慶尚北道)及び国内の1自治体(兵庫県)から、環境の現状と課題について報告された。

c 2005年個別プロジェクトの実施状況

各自治体から、5つの個別プロジェクトの実施状況について報告された。

- ・ 日本海沿岸地域の土壌の油汚染に関する調査。(沿海地方)
- ・ 北東アジア地域環境保護国際ユースシンポジウム(沿海地方)
- ・ 日本海・黄海沿岸の海辺の漂着物調査(富山県)
- ・ 北東アジア地域との渡り鳥に関する共同調査(富山県)
- ・ 北東アジア青少年環境シンポジウム(遼寧省、富山県)

d 2006年個別プロジェクトの提案

各自治体から、2006年に実施する4つの個別プロジェクトが提案され、その概要説明と参加要請がなされた。

- 日本海における海底地形及び底生生物群集の生物多様性と分布の調査(沿海地方)
- ・ 日本海・黄海沿岸の海辺の漂着物調査(富山県)
- ・ 北東アジア地域との渡り鳥に関する共同調査(富山県)
- ・ 北東アジア青少年環境シンポジウム(富山県)

(カ) 主な成果

a 各自治体における環境の現状と課題について

海外の6自治体（セレンゲ県、ハバロフスク地方、サハリ州、黒龍江省、山東省、慶尚北道）及び日本の1自治体（兵庫県）から、「各自治体における環境の現状と課題」について報告され、各自治体での「大気汚染対策」や「水質汚濁対策」、「自然環境保護」、国内自治体では「ディーゼル自動車の運行規制」などが課題として挙げられた。この報告に基づいて意見が交わされ、北東アジア地域の環境の現状等について、参加自治体が相互に理解を深め、共通の認識を持つことができた。

b 個別プロジェクトの実施・提案状況等

個別プロジェクトの実施・提案状況等について熱心に意見が交わされ、北東アジア地域の環境保全を推進するため、引き続き、個別プロジェクトの積極的な提案と実施が重要であるという認識を共有した。また、今回、沿海地方から新たな個別プロジェクトが1件提案され、その概要説明とプロジェクトへの参加要請がなされた。



(2) 対岸地域との環境協力推進事業

対岸地域自治体との環境分野における理解と協力を深めるため、対岸地域自治体へ協議団、視察団を派遣し、協力事業の協議や環境の状況の視察等を行った。

ア 中国遼寧省への派遣

(ア) 期間

2005年8月20日～24日

(イ) 派遣者

財団法人環日本海環境協力センター
専務理事 三田 哲朗

(ウ) 内容

- 遼寧省において、酸性雨がかなりの頻度で発生しているなど、大気汚染が深刻化している現状を確認した。
- 富山県と遼寧省が、酸性雨モニタリングや海洋調査等に関する技術的な交流を行うことを確認した。
- 遼寧省環境観測センターにおける組織や業務内容について視察し、富山県からの技術指導による成果を確認した。

イ ロシア沿海地方への派遣

(ア) 期間

2005年12月14日～17日

(イ) 派遣者

財団法人環日本海環境協力センター
専務理事 三田 哲朗
企画交流課長 川崎 清人

(ウ) 内容

- 「北東アジア青少年環境シンポジウム2006」の開催概要について意見交換を実施した。
- シンポジウムの開催予定地の学校を視察した。
- シンポジウムの開催予定会場の設備、参加人数等について具体的な意見交換を実施した。

(3) 北東アジア環境情報システムの維持・運用

北東アジア地域（日本、中国、韓国、ロシア等）の環境保全を促進するために、インターネットを介して、この地域の環境問題や環境施策、環境技術等についての情報の共有化を図るとともに、地方自治体レベルの環境保全プロジェクトの情報交換や技術協力等の活動を活性化させる。

このために、「北東アジア環境情報広場(Webサイト)」に日本語、中国語、韓国語、ロシア語（一部モンゴル語も追加）、英語の5か国語で情報を発信した。

ア 北東アジア環境情報広場（日本語版）

の掲載内容

- (ア) 環日本海地域の社会環境データベース
 - a 社会データ
 - ・ 環日本海地域の全体像
 - ・ 日本の基本情報
 - ・ 中国の基本情報
 - ・ 韓国の基本情報
 - ・ ロシアの基本情報
 - ・ 各国の地方行政制度
 - b 環境データ
 - ・ 環日本海地域の環境課題
 - ・ 環日本海地域の環境協力
 - ・ 日本の環境概況及び環境行政
 - ・ 中国の環境概況及び環境行政
 - ・ 韓国の環境概況及び環境行政
 - ・ ロシアの環境概況及び環境行政
 - c 文化・歴史データ
 - ・ 対岸諸国の人々の生活
 - ・ 環日本海地域の歴史
- (イ) 北東アジア地域自治体連合環境分科委員会の紹介
- (ウ) 北東アジア地域自治体等の環境保全に関する情報交流
- (エ) 海辺の漂着物ネットワーク
- (オ) 関連リンク集

イ 北東アジア環境情報広場の情報更新

「環境情報広場」の内容の充実を図るため、環境分科委員会の開催概要や環境分科委員会の各プロジェクトの結果、環境分科委員会で各自治体から提供された環境情報を新規に掲載するなど、情報の更新及び内容の充実を図った。

- ・ 北東アジア環境情報広場（日本語版）のアドレス

http://www.npec.or.jp/northeast_asia/index.html